

今渡地区センター はづらつ(認知症予防教室) 日誌

日時 令和 7年 1月 9日 木曜日 13:30~15:00 天候 晴れ

チームN

中津智広 須田貴大 伊藤千加良

1 スケジュール

プログラム名	備考
挨拶 HWリアリティオリエンテーション 姿勢・発声トレーニング (中津)	
ストレッチ・筋トレ (伊藤)	
認知症予防講座 (サントピアみのかも 三宅奈美子)	事務・写真撮影 運営スタッフ
コグニサイズプログラム (須田)	
挨拶	

2 認知症予防講座 (俗称: プチ講座)

講座名	内容
暮らしの備えを考えよう	
担当	
サントピアみのかも 作業療法士 三宅奈美子	健康なときからの備えが重要!と、生活場面に合わせた「出来る工夫」をいくつか紹介。「今日は何日なのか…」「鍵はどこに置いたのか…」「鍵の閉め忘れはないか…」などなど。今後、誰にでも経験すること!として備えの知識を共有する講座となった。また「認知症になってしまっても…本人しさを保ちながら、仕事や趣味をして、友人との交流を続けていくことも出来るんです。」と講師。その例として、認知症希望大使の方の活動があることを紹介をされる。皆さんにとって、今後の生活に関しての「安心」になったのではないだろうか。
時間	
14:15~14:45	

3 コグニサイズメニュー

内容
足踏み + 数唱 (数字の課題にて上肢操作・手拍子)
足踏み + 作業記憶課題 (じゃんけん+ルール) ストループ課題 (文字・色の識別)
足踏み + 空間認知課題 注意課題 言語課題 計算課題
1人で行うコグニサイズと感染対策を徹底し対面(ペア)でのコグニサイズ。

4 その他メニュー

バイタルサインプログラム①	→ 受付にて検温・問診
バイタルサインプログラム②	→ 血圧測定
相談 ⇒ 参加者さまからのニーズに合わせて対応	包括スタッフに随時報告
コグニラダー ⇒ 会場に準備 休憩時などに実施 (○の倍数のときに手拍子)	

5 反省・次回の予定など

2024年度 後期の可見市 認知症予防教室事業「はづらつ」が開催される。基本的な感染対策を行いながら教室運営。マスク着用は個人判断であるものの、皆さんの感染対策意識は高く、手指消毒、換気やソーシャルディスタンスにも気を配りながらトレーニングを実施。運動に伴う体調変化や転倒予防も常時、気を付けていく。

参加者数

性別	男性	女性
人数	12	17
合計	29	/ 38名中

その他 運営スタッフ数名

6 参考資料・教室の様子など

基本的な感染対策を講じながらの教室開催！！

- A man in a mask performing a stretching exercise while seated.
- A man in a mask leading a stretching exercise with participants raising their hands.
- A man speaking at a podium with a whiteboard behind him.
- A woman in a blue sweatshirt standing by a whiteboard.
- A woman in a blue sweatshirt speaking to an audience.
- A woman in a blue sweatshirt standing by a whiteboard with handwritten text about habits.

認知症予防教室メニュー

- リアリティーオリエンテーション
- 筋トレ・ストレッチ
- プチ講座
- コグニサイズ

くわんし
6~7時間
眼

MCI = 認知症ではない
生活中に支障が出る一歩手前

○○○○○○○○○○

下
コグニサイズ
認知機能 エクササイズ(運動)

認知症予防の取組み

①認知機能低下の抑制を目的とした取り組み

- ・認知症の症状を遅らせるためのアプローチ

②生活機能低下を緩和する取り組み

- ・認知症を発症しても生活能力を保つための

マナー、手

・認
②生活
・認
ア

習慣>
バランス良く ④学習 ぐわんし
力 有酸素運動 ⑤睡眠 6~7
充 3人以上 千加

第9回 プチ講座

講師：サントピアみのかも 作業療法士 三宅奈美子 氏

暮らしの備えを考えよう！

健康なうちから…事前の準備！心構えが重要ですね。